

群馬労働局 発表
令和7年11月28日

【照会先】

群馬労働局労働基準部監督課

監督課長

大石奈津生

過重労働特別監督監理官

岩間 祐央

(電 話) 027-896-4735

報道関係者 各位

ベストプラクティス企業の働き方改革や物流課題への取組

～群馬労働局長が株式会社ベイシアと意見交換を行いました～

群馬労働局（局長 うえのやすひろ 上野康博）では、毎年11月の「過労死等防止啓発月間」における過重労働解消キャンペーンの一環として、群馬労働局長が長時間労働の削減等に積極的な取組を行っている「ベストプラクティス企業」を訪問し、当該企業の取組事例を広く紹介する取組を行っています。

令和7年11月14日、今年度のベストプラクティス企業の株式会社ベイシアを訪問し、意見交換を行いました。

詳細は、別紙のとおりです。

【意見交換の概要】

1 意見交換日時

令和7年11月14日（金）午前10時00分～12時00分

2 ベストプラクティス企業

名 称 : 株式会社ベイシア

事 業 内 容 : スーパーマーケット

意見交換場所 : 株式会社ベイシア 2階会議室（所在地：前橋市亀里町900）

職場訪問先 : 株式会社ベイシア 前橋みなみモール店（所在地：前橋市新堀町893）

3 企業の主な取組

<自社の働き方改革の取組>

- セルフレジ導入やアプリ導入による業務効率化
- 教育ツールの活用や職種別研修の整備による人財育成の強化
- 店舗管理監督者の複数体制による負担軽減
- パート社員の定年延長など、多様な働き方の整備

<荷主としての取組>

- 入荷バース予約システムの導入やパレット納品による荷待ち・荷役時間削減
- 発注から納品までの時間の見直し
- 車両の相互活用による積載率・実車率の向上

意見交換の様子



自社の働き方改革に向けた取組

取組の内容

※詳細は次ページ

生産性

- ✓教育ツールに電子マニュアルを活用
- ✓アプリで賞味期限チェックを効率化
- ✓セルフレジ導入により他業務に移行

働き方

- ✓店舗管理監督者の長時間労働是正
- ✓残業申請ツールの進化・注意喚起
- ✓パート社員の定年延長

取組の成果

時間外労働

◆管理監督者以外(正社員平均)

店舗

本部

23年度
月間平均24年度
月間平均23年度
月間平均24年度
月間平均

約20%削減

約30%削減

年次有給休暇消化率

◆全正社員平均

48.4%

60.4%

23年度

24年度

◆管理監督者

同月平均の時間外労働は
平均約20%削減



**19時に
なりました**

20分以上の時間外労働を予定している場合は
「時間外勤務申請」を行いましょ

上司とコミュニケーションを取り
優先順位の確認や相談を行いましょ!

教育ツールとして電子マニュアルを活用

教育ツールとして活用することで、①「業務の標準化」による効率改善、
②現場作業教育の時短、③「誰でもできる」ことでシフトが最適化しやすい

Before



教育は大事！
でも同じ事を
何人も教える
のは大変...



電子マニュアル
を活用・運用
した結果

After

わからないことは
いつでも
マニュアルで確認！



教育の時短ができて
助かった！

シフトが最適化できて
生産性が上がった！

アプリ導入により賞味期限チェックを効率化

アプリ導入により全量チェックからアラートが出た商品だけに
チェック対象を減らして日付確認作業を効率化

Before

日付の全量チェックは
時間がかかって大変...



After

アプリ導入で
作業を効率化
した結果

アラートが出た商品だけ
日付をチェックすれば
良くなりラクになった！



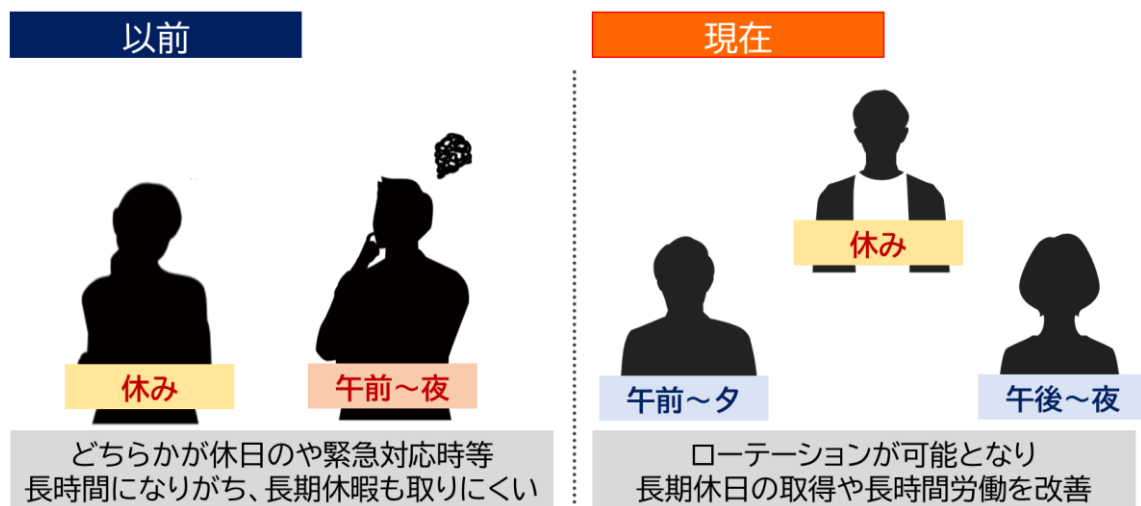
◀ 店舗で担当者から説明を
受ける上野労働局長

セルフレジ導入によりチェック項目を減らして効率化

従来のレジ業務から、アテンダント業務や他部門応援に移行



副店長を2名体制とし、管理監督者の長時間労働を是正



副店長(管理監督者の補助)を2名体制とすることで
店長の長時間労働を是正すると共に、有給休暇を取得しやすい環境の整備

残業申請ツールの進化・注意喚起

残業申請ツールの進化、夜間シャットダウンシステムの導入及び月次の時間外勤務状況や年次有給休暇取得促進の注意喚起など、意識付けによる環境整備

パート社員の定年延長

従業員の豊富な経験を活かし、雇用継続期間の拡充を進めるとともに、DXによる作業の簡略化や店舗設備の整備等、契約内容の柔軟化と連動した環境整備

荷主としての物流課題に対する取組

物流課題への対策を**経営レベル**で認識し、
3つの対策を確実に、合理的に実施していくことで**負の解消を図る**

具体的な対応策

①荷待ち・荷役時間の削減

・入荷バース
予約システム導入



・荷役作業の
センター対応



・パレット納品の
推進



ドライバーの「長時間待機・荷役作業時間」を削減

②発注から納品までの時間見直し

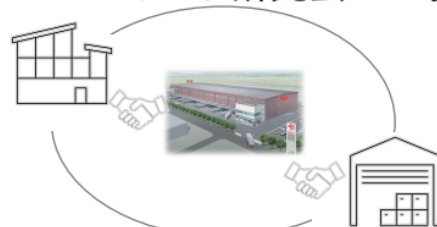
・加工食品・酒・菓子類の
発注から納品までの時間を延長



ドライバー手配が計画的に実行でき、
配送の「**集中化回避**」
により物流負荷の軽減

③協業領域の拡大

・ベイシアグループ協業
スーパーマーケット研究会への参加



車両の相互活用による
配送の「**積載率・実車率**」
の向上

自社の働き方改革に向けた取組を推進するとともに、
2024年問題を契機に、
持続可能な物流体制の構築に向けた取組を推進